

北区役所 だより

潟と大河と日本海、水の恵みに育まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち

令和7年(2025年)

4月6日号

毎月第1・3日曜日 発行

Vol.432

編集・発行 新潟市北区役所地域総務課

〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号 ☎025-387-1000(代表) ☎025-387-1020
ホームページ <http://www.city.niigata.lg.jp/kita/> 電子メール chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

北区 人口 69,956人(−87) 男 34,206人(−42) 女 35,750人(−45) 世帯数 30,039世帯(−32) ※令和7年2月末現在 カッコ内は前月比 住民基本台帳から

令和7年度

特色ある 区づくり予算と 主な事業

区の強みである自然環境の魅力を発信し交流人口の拡大を図ります。また、大学生など若者の発想や民間企業の専門的知見を生かすとともに、多様な団体と連携を深めてにぎわいを創出し、地域課題の解決および地域活性化に努め、住み続けたいくなるまちづくりに取り組みます。

問い合わせ 地域総務課(☎025-387-1125)

自然の魅力輝くまち



福島潟①



海辺の森②



松浜エリアリノベーションカレッジ③

新規 ●キタクなる福島潟整備事業…………… 1,000万円

「水の公園福島潟」の景観の確保や快適な利用に向け、園路の修繕などの環境整備を行い、来訪者の増加につなげます。(写真①)

新規 ●北区水辺大学…………… 100万円

福島潟・新井郷川周辺地域における水辺の魅力と水との関いの歴史を学ぶ体験型事業や、十二潟やひょうたん池などにおける保全や自然観察に関する地元地域団体の活動を知るための体験型事業を実施し、豊かな水辺の魅力向上と区への愛着形成を図ります。

●キタクなるみどりの景観共創事業…………… 450万円

魅力ある自然環境を教育や観光に活用し交流人口の拡大を図るため、海辺の森や農村公園のボランティア団体等と協働で緑地管理を推進し、農村環境の景観向上に取り組みます。(写真②)

●松浜海岸の自然環境保全と 地域の魅力づくり事業…………… 300万円

●水辺ふるさとづくり事業…………… 250万円

いきいきと心豊かに暮らせるまち

拡充 ●北区エンジョイスポーツ事業…………… 300万円

気軽にスポーツを楽しめる区民参加型のイベントや、各種競技別大会を開催し、多くの人々がスポーツを愛好する機運の醸成を図ります。あわせて、ジュニア世代の課外活動を支援します。

●出張児童館事業…………… 990万円

既存の公共施設などを活用し、児童館のない地域へのサービスの拡充を図り、こどもの居場所づくりを推進します。(写真⑤)

●北区もの忘れ検診…………… 71万円

●子育て応援事業…………… 147万円

●北区郷土博物館地域魅力発信事業…………… 100万円

未来へ続く活力あるまち

●松浜エリアリノベーション推進事業(写真③)… 350万円

●キタクなる魅力創造プロジェクト…………… 370万円

交流人口拡大のため、福島潟の食材を使った潟料理などの観光資源を整備し、新規顧客の開拓とリピーターの増加を狙います。あわせて、市外・県外・外国人客・若者世代に向けた広報を強化します。

●大学連携「未来のまちづくり」事業…………… 100万円

区民の身近なテーマで継続的に大学、民間事業者、地域、行政が連携した講座などを開催することで、地域のつながり強化やまちづくりの活性化を図ります。(写真④)

●北区トマト王国プロジェクト…………… 200万円

●商店街ブランディング事業…………… 260万円

●産学官豊栄まちなかりノベ事業…………… 350万円

区自治協議会提案事業…………… 120万円

自治協委員で構成する専門部会(地域づくり・福祉教育・自然文化)それぞれが、区民との協働による地域課題の解決に向けた事業内容を検討するため、区の現状・課題に関する調査研究を行います。



大学連携「未来のまちづくり」事業④
「子どもの体力向上プログラム」講座の様子



出張児童館⑤



左から2番目が北区長

今年度も、区ビジョンまちづくり計画に基づき、様々な取り組みを行いながら、区の将来像「潟と大河と日本海、水の恵みに育まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち」に向け、まちづくりを進めてまいります。一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

北区長 丸山 寛

また、全国的に中学校の部活動について地域移行の動きが本格化していく中で、北区では、昨年4月に「北区中学生のための地域クラブ活動推進協議会」を立ち上げ、新潟医療福祉大学や区内中学校はじめ関係団体と連携して地域への移行を進めています。

昨年度は野球、卓球、ソフトテニス、吹奏楽で実証事業を行ったほか、学校と地域クラブをつなぐコーディネーター業務を行いました。現在、12種目で受け入れ可能な地域クラブが立ち上がっています。

北区のこども達がのびのびと地域で活動に参加できるよう、引き続き本格実施に向けて、受け皿作りを進めていきます。

さて、本市では、ラムサール条約都市の推進に向け、潟の魅力の発信や賢明な利用の促進を図るなどの取り組みを進めています。北区に位置する福島潟は、四季折々の美しい風景・自然、人々の暮らしが調和する美しい湿地です。春の時期には、一面に菜の花が広がり、気候の良い朝には水面に雄大な五頭山地が映し出され、美しい水鏡となります。また、越冬で訪れるオオヒシクイはじめ、一年を通じて様々な野鳥観察の楽しみも提供してまいります。

2026年には世界湿地都市ネットワーク市長会議が本市で開催されることが決定しております。この機会を捉え、さらなる「北区の自然の魅力」発信と交流人口の拡大を図ります。

新しい年度を迎えて

北区長に就任し、3年目を迎えました。これからも区民の皆様との対話を大切に、地域と連携しながらまちづくりを進めたいと思っておりますので、今年度もよろしく願いいたします。